

平成22年2月期 第1四半期決算短信

平成21年7月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ガリバーインターナショナル
 コード番号 7599 URL <http://www.glv.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成21年7月15日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 羽鳥 兼市

(氏名) 吉田 行宏

TEL 03-5208-5503

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年2月期第1四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第1四半期	37,492	—	2,731	—	2,485	—	935	—
21年2月期第1四半期	46,198	8.1	1,243	△46.7	1,065	△55.1	266	△81.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第1四半期	102.81	—
21年2月期第1四半期	27.80	27.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第1四半期	59,004	16,958	28.7	1,863.04
21年2月期	58,773	15,836	26.9	1,704.02

(参考) 自己資本 22年2月期第1四半期 16,948百万円 21年2月期 15,829百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	41.00	—	0.00	41.00
22年2月期	—				
22年2月期(予想)		38.00	—	38.00	76.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	74,000	—	2,300	—	2,300	—	900	—	98.93
連結累計期間	154,000	△5.9	5,000	28.0	5,000	89.8	2,300	—	252.82

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年2月期第1四半期	10,688,800株	21年2月期	10,688,800株
② 期末自己株式数	22年2月期第1四半期	1,591,733株	21年2月期	1,591,730株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年2月期第1四半期	9,097,069株	21年2月期第1四半期	9,597,077株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により上記の業績予想とは異なることがあります。

2.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表等に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間(以下、「当第1四半期」)の売上高は、前年同期比18.8%減となりました。ガリバー直営店における買取台数が減少したことや、連結子会社・株式会社ジートレーディング(JQ:3348)の売上高が減少したことが主な要因です。ただし、金融事業を展開する連結子会社・株式会社ジー・ワンファイナンシャルサービスの売上高は、ガリバー直営店における小売台数の伸びに比例してオートローン件数が増加したことにより増加しました。当第1四半期の売上高は減少しましたが、営業利益は前年同期比119.6%増となりました。これは、中古車オークションを通して中古車事業者に販売する「卸売り」よりも利益率の高い一般消費者向けへの「小売り」の台数が大幅に増加したことが最も大きな要因です。加えて、広告宣伝費の減少などに伴い販売費及び一般管理費が減少したことも寄与しました。また、一部店舗の閉店に伴う固定資産除却損428百万円など、特別損失を642百万円計上しました。

以上の結果、当第1四半期の業績は、売上高37,492百万円(前年同期比18.8%減)、営業利益2,731百万円(前年同期比119.6%増)、経常利益2,485百万円(前年同期比133.2%増)、四半期純利益935百万円(前年同期比250.5%増)となりました。

当第1四半期の営業利益及び経常利益は、四半期決算開示以前の実績も含め、第1四半期における最高益を更新しました。

セグメント別の業績は次の通りです。

[中古車販売事業]

当事業の売上高は、前記の通り、ガリバー直営店における買取台数が減少したことや、連結子会社・株式会社ジートレーディングの売上高の減少により減少しましたが、中古車オークションを通して中古車事業者に販売する「卸売り」よりも利益率の高い一般消費者向けへの「小売り」の台数が増加したことや、社員数が減少したことによる人件費の減少及び広告宣伝費の減少に伴い販売費及び一般管理費が減少したことにより営業利益は増加しました。

なお、5月末におけるガリバー直営店の店舗数は、290店舗(前年同期末比10店舗純減、前期末比18店舗純減)となりました。

結果として、売上高34,661百万円と前年同期比8,425百万円(19.6%)減、営業利益3,251百万円と前年同期比1,445百万円(80.0%)増となりました。

[金融事業]

金融事業を行う株式会社ジー・ワンファイナンシャルサービスは、オートローン件数がガリバー直営店における小売台数の伸びに比例して増加したことにより、売上高が増加しました。一方、業容の拡大に伴い、販売費及び一般管理費が増加しました。なお、オートローン件数の増加に伴い、金融事業における売掛金が、21,358百万円と前期末と比べ2,969百万円(16.2%)増となりました。

結果として、売上高1,991百万円と前年同期比553百万円(38.5%)増、営業利益54百万円と前年同期比39百万円(42.0%)減となりました。

[その他の事業]

5月末におけるガリバー加盟店の店舗数は、132店舗(前年同期末比17店舗純減、前期末比13店舗純減)となったため、ガリバー加盟店から得る収益が減少しました。また、陸送事業を行う連結子会社・株式会社ハコボーの売上高が減少しました。

結果として、売上高2,556百万円と前年同期比525百万円(17.1%)減、営業利益541百万円と前年同期比185百万円(25.6%)減となりました。

なお、文中の前年同期比は適用される会計基準が異なるため、参考情報として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

[資産の部]

当四半期末の資産の部合計は、59,004百万円(前期末比0.4%増)となりました。

流動資産は、売上債権が増加した一方、現金及び預金、販売目的で保有するたな卸資産が減少したことなどにより、40,577百万円(前期末比0.9%増)となりました。

固定資産は、店舗の新規出店などの設備投資を行ってないことなどから、18,427百万円(前期末比0.8%減)となりました。

[負債の部]

当四半期末の負債の部合計は、42,046百万円(前期末比2.1%減)となりました。

流動負債は、短期借入金の返済などにより、39,697百万円(前期末比2.9%減)となりました。

固定負債は、預り保証金が増加したことなどにより、2,349百万円(前期末比13.2%増)となりました。

[純資産の部]

当四半期末の純資産の部合計は、当期純利益に伴う利益剰余金の増加などにより16,958百万円(前期末比7.1%増)となり、自己資本比率は28.7%(前期末比1.8ポイント増)となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期及び第2四半期累計期間の業績予想につきましては、平成21年4月20日に公表しました決算短信に記載する業績予想から変更はありません。

なお、当第1四半期において前年同期比で減少した広告宣伝費につきましては、第2四半期以降、小売事業の強化の一環として、小売りを訴求するプロモーション(TVCMなど)を積極的に行っていく計画であるため、通期では前年同期比で増加となる見込みです。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

・棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し前連結会計年度末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。また、棚卸資産の簿価切下げにあたっては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行っております。

・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

・連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法等により相殺消去しております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

たな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

なお、この変更に伴う影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,273	4,215
受取手形及び売掛金	25,228	23,296
商品	7,668	8,111
営業貸付金	2,277	2,287
繰延税金資産	777	456
その他	2,334	2,784
貸倒引当金	△983	△951
流動資産合計	40,577	40,202
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,682	11,011
減価償却累計額	△3,159	△3,241
建物及び構築物(純額)	7,522	7,770
車両運搬具	75	53
減価償却累計額	△52	△39
車両運搬具(純額)	23	13
工具、器具及び備品	3,419	3,204
減価償却累計額	△2,108	△2,039
工具、器具及び備品(純額)	1,310	1,164
土地	409	409
建設仮勘定	1	164
有形固定資産合計	9,267	9,522
無形固定資産		
のれん	68	77
ソフトウェア	1,713	1,545
その他	71	72
無形固定資産合計	1,854	1,695
投資その他の資産		
投資有価証券	202	118
関係会社株式	152	150
長期貸付金	157	158
敷金及び保証金	3,466	3,953
建設協力金	2,974	2,530
繰延税金資産	394	434
その他	411	406
貸倒引当金	△454	△400
投資その他の資産合計	7,305	7,352
固定資産合計	18,427	18,571
資産合計	59,004	58,773

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,178	2,993
短期借入金	26,008	28,643
未払金	3,146	3,259
未払法人税等	1,349	567
預り金	341	166
賞与引当金	999	559
製品保証引当金	387	354
事業整理損失引当金	64	—
その他	4,220	4,317
流動負債合計	39,697	40,862
固定負債		
長期借入金	587	624
長期預り保証金	882	874
役員退職慰労引当金	431	425
負ののれん	129	138
その他	318	11
固定負債合計	2,349	2,074
負債合計	42,046	42,937
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,157	4,157
資本剰余金	4,032	4,032
利益剰余金	19,703	18,768
自己株式	△11,465	△11,465
株主資本合計	16,427	15,492
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	41	△8
為替換算調整勘定	479	345
評価・換算差額等合計	520	336
新株予約権	4	4
少数株主持分	5	2
純資産合計	16,958	15,836
負債純資産合計	59,004	58,773

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)
売上高	37,492
売上原価	26,520
売上総利益	10,971
販売費及び一般管理費	8,240
営業利益	2,731
営業外収益	
受取利息	0
受取手数料	5
負ののれん償却額	9
その他	29
営業外収益合計	44
営業外費用	
支払利息	40
為替差損	235
その他	13
営業外費用合計	290
経常利益	2,485
特別利益	
前期損益修正益	32
貸倒引当金戻入額	38
その他	17
特別利益合計	89
特別損失	
前期損益修正損	122
固定資産除却損	428
事業整理損	66
その他	24
特別損失合計	642
税金等調整前四半期純利益	1,932
法人税、住民税及び事業税	1,307
法人税等調整額	△314
法人税等合計	992
少数株主利益	4
四半期純利益	935

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成21年3月1日
 至 平成21年5月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,932
減価償却費	422
のれん償却額	6
負ののれん償却額	△9
貸倒引当金の増減額(△は減少)	86
賞与引当金の増減額(△は減少)	439
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6
製品保証引当金の増減額(△は減少)	33
受取利息及び受取配当金	△0
支払利息	40
為替差損益(△は益)	226
固定資産除却損	428
売上債権の増減額(△は増加)	△2,379
たな卸資産の増減額(△は増加)	291
営業貸付金の増減額(△は増加)	9
未払消費税等の増減額(△は減少)	125
仕入債務の増減額(△は減少)	199
その他	987
小計	2,848
利息及び配当金の受取額	0
利息の支払額	△40
法人税等の支払額	△501
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,306
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△209
有形固定資産の売却による収入	0
無形固定資産の取得による支出	△371
関係会社株式の取得による支出	△1
貸付金の回収による収入	0
敷金及び保証金の差入による支出	△23
敷金及び保証金の回収による収入	48
建設協力金の支払による支出	△25
その他	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△582
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,610
長期借入金の返済による支出	△62
自己株式の取得による支出	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,672
現金及び現金同等物に係る換算差額	5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△942
現金及び現金同等物の期首残高	4,215
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,273

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年5月31日)

	中古車販売 事業 (百万円)	金融事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	34,206	1,573	1,712	37,492	—	37,492
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	454	417	844	1,716	△1,716	—
計	34,661	1,991	2,556	39,208	△1,716	37,492
営業利益	3,251	54	541	3,847	△1,116	2,731

(注) 1 事業区分の方法

事業区分は、売上集計区分によっております。

2 各事業区分に属する主要な商品又は役務の名称

事業区分	主要商品又は役務の名称
中古車販売事業	当社直営店等における中古自動車の買い取り及び販売
金融事業	連結子会社の株式会社ジー・ワンファイナンシャルサービスにおいて、オートローンの取り扱い等の金融事業における役務の提供
その他の事業	車の買取と販売を行う「ガリバー」及び「画像販売システム」設置店の運営に係るフランチャイズ事業における役務の提供

[所在地別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年5月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が、90%を超えているため記載を省略しております。

[海外売上高]

当第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年5月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前第1四半期に係る財務諸表等

(要約)前四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成20年3月1日～5月31日)

(単位:百万円)

科目	前年同四半期 (平成21年2月期 第1四半期)
	金額
I 売上高	46,198
II 売上原価	35,777
売上総利益	10,420
III 販売費及び一般管理費	9,176
営業利益	1,243
IV 営業外収益	73
V 営業外費用	251
経常利益	1,065
VI 特別利益	17
VII 特別損失	438
税金等調整前四半期 純利益	644
法人税、住民税及び 事業税	326
法人税等調整額	102
少数株主利益	△51
四半期純利益	266